

私の鉄拳愛用者  
ホルムズ

前回までのあらすじ  
ホニー見学

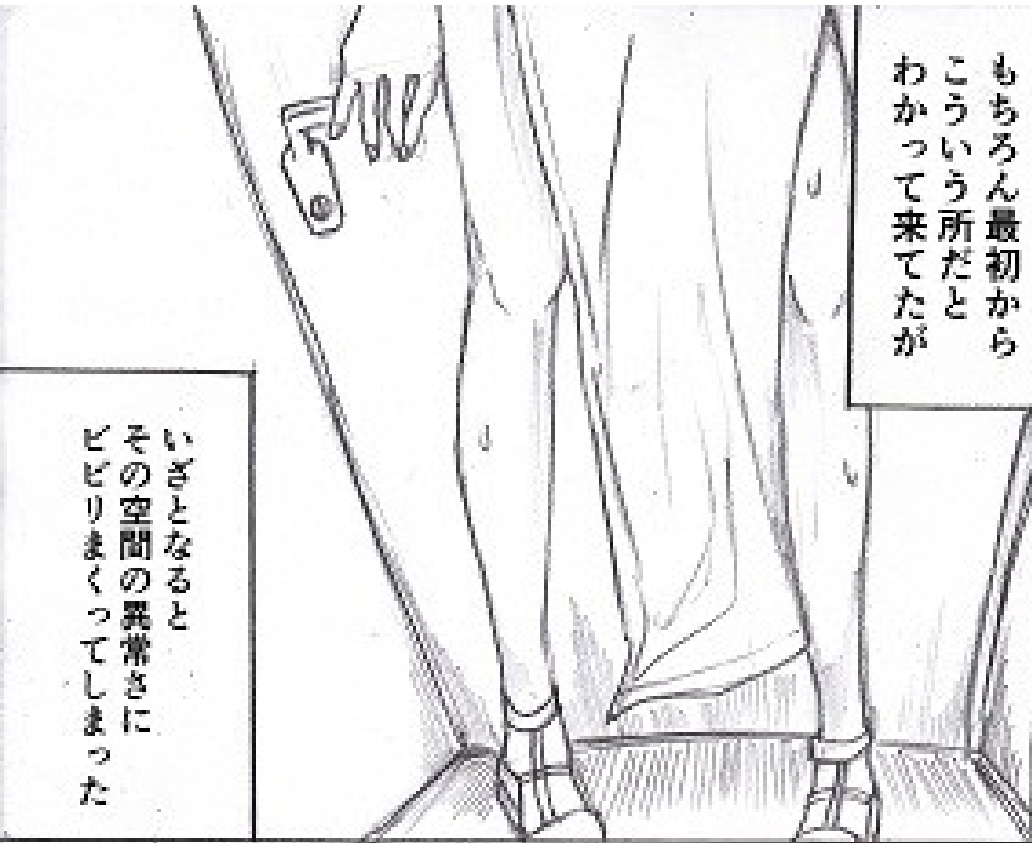
# 女子大生がバニーに 行ってみたい③

△注意

いきなりアッな感じで始まります

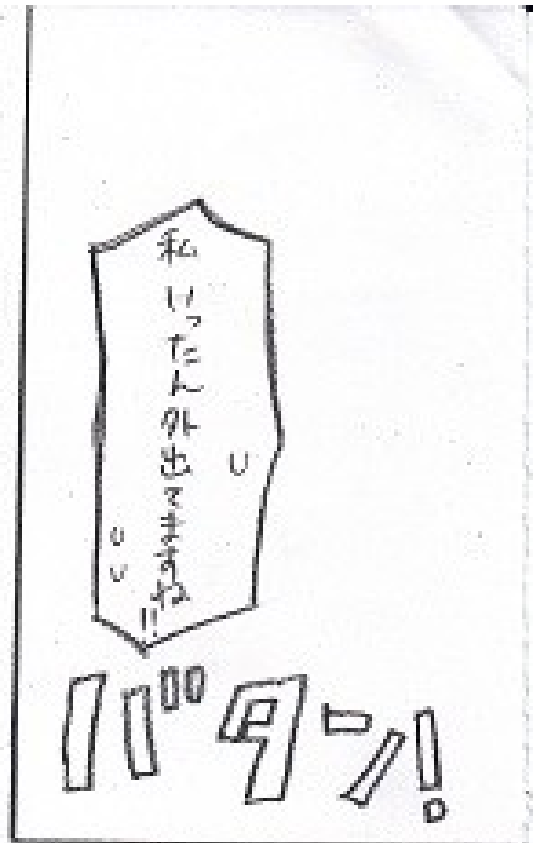






もちろん最初から  
こういう所だと  
わかって来てたが

いざとなると  
その空間の異常さに  
ビビりまくってしまった



私 1人外出マシヤナ

パタン!



...

イヤー  
オレハタシセッタわ

どまたん

その後2人は  
すぐに出てきたが



私は何となく気まずくて  
アキくんと目を  
合わせられなかった

トモヤさんがね  
この後あなたと  
遊びたいそうです



この後!!!??



しっ、  
主人さまにさー

Oh my god!!  
お尻を叩かれた  
らないでね  
ごめん

どうやらこの店は  
そういう執事も  
してくれるらしい



「トモヤさん」の「トモヤ」  
かはあなたのお名前



嫌なら  
断りますよ

あー、えと、  
ちょっと待って  
ください...



まあ 私は本来 男性を選び好み  
できるほどの女ではないのだが、  
せっかくの機会なので

「アキくんならいいです」と  
店員さんに伝えたのだった

先ほどのトイレでの表情が  
頭から離れなかったからである



しかし この選択が  
のちに私にとって  
大きな意味を  
持つことになった

タクシーでアキくんの  
家に向かう途中



私たちは  
いろんな話をした

アキくんは  
穏やかで  
すごく気さくだった



なぜこんな人が  
あんな所に……？  
と

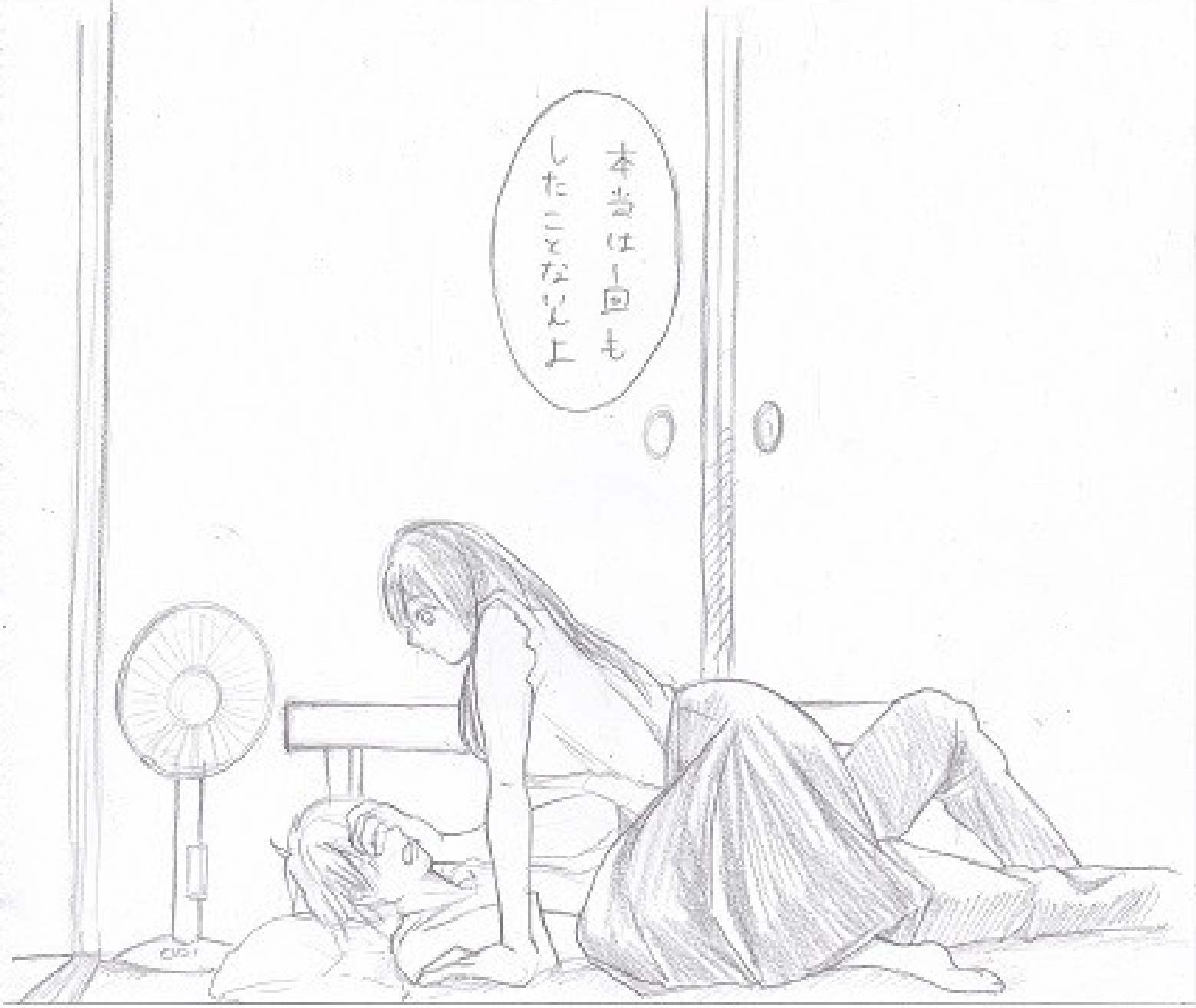
「リヤモネをだるらな  
と、も感じたので

話せば話すほど  
謎が深まっていった





本当は一回も  
したことがないよ



.....  
マ  
????  
.....





大学も女子部で  
女子一人もおらんし

ほんま今のあんな  
とこ行ったらやけど



実はこの前地元に戻るとき、  
友達にめっちゃバカにされて

超悔しかったと  
やけどすし



でもオレ口でされた  
だけでも全然余裕なくて  
エッチとかどうしたら  
いいか全くわからん...

何かめっちゃ  
騙したみたいで  
ごめん...

みなさん  
思い出してほしい

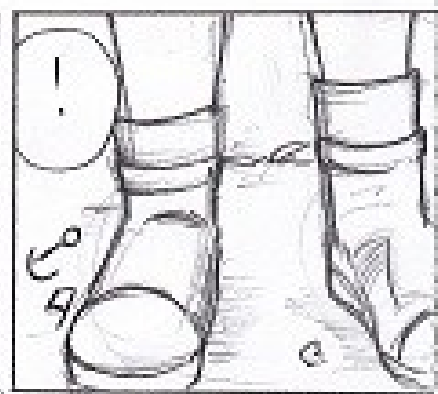
# 参照話第1

※ちなみに 心底どうでもいい  
私の性癖二大巨頭はこちら

①三度の飯より重貞が好き



②男性のごく日常的な  
自慰を拝見したい



アハハ

険しい道の先には  
ユートピアが  
あった……!

アハハ

この年になってこんな  
素敵童貞に知り合える  
とはつゆ思わず

?

私は自分の嗅覚と  
目の前の奇跡に  
ひたすら感謝した

私はそれむしろ  
嬉しいんだけれど、  
マキくんはいいんマ。

初めてがこんな

どこの馬の骨とも  
わからんぜで……



総括

ハブニングバーは  
何かよくわからないけど  
結果的にめっちゃ最高